

長期経営戦略に基づく中期経営計画の進捗状況

経営課題

社会的責任を果たすために

- 安定した経営基盤の構築
- ステークホルダーへの利益還元
- 製品の安定供給
- ライフサイクルでの環境負荷削減
- SDGsなど国際合意事項の推進
- 人権を重視した職場環境の整備

持続可能性と企業価値向上のために

- 製品の高付加価値化に資する製品開発
- 顧客の生産性向上に資する製品の普及
- IoT/AIなど最先端技術を活用したものづくり革新
- ダイバーシティに配慮した働きやすい職場づくり
- 従業員の教育・能力向上

各事業の成長戦略

事業環境	注力商品／販売戦略	研究開発	生産体制
工作機械事業 中計の骨子： ●放電加工機に次ぐ製品群の育成 注： 米・英・上海で販売拠点を整備			
ワイヤ放電加工機	●自動車産業の変革（次世代自動車、自動運転など）	●本社数地内に第2棟（研究棟）を竣工。米・中国の拠点と一体となったグループ共通の技術開発・製品開発を強化	●性能・品質・操作性向上に向けた研究開発を継続
形彫り放電加工機	●新興市場の販売体制を強化（インド・メキシコ等）		●加賀工場を物流を含むマルチファクトリーを竣工
細穴放電加工機	●欧米市場におけるシェア拡大（自動車・航空宇宙分野）		●加賀工場をマザー工場として、セル生産システムを海外工場にも展開
精密マシニングセンタ	●精密マシニングセンタの製品ラインナップ、販売体制を強化		●要素技術の内製化によるコスト削減
金属3Dプリンタ	●金属3Dプリンタの製品ラインナップを拡充、販売を促進	●アプリケーション、加工ノウハウ、金属粉末の拡充に向けた研究開発を継続 ●コア技術の内製化を推進	
産業機械事業 中計の骨子： ●海外売上高比率を70%以上に向上 注： 米・中国の拠点と一体となったグループ共通の技術開発・製品開発を強化			
機型射出成形機	●自動車産業の変革（電装部品増加、軽量化・微細化）	●本社数地内に第2棟（研究棟）を竣工。米・中国の拠点と一体となったグループ共通の技術開発・製品開発を強化	●原価低減プロジェクトを継続
空型射出成形機	●通信ネットワークの拡大（5G、ビッグデータ、スマートフォンの高機能化など）	●自動生産システム、IoT/AIによって予防保全・状態管理等のソリューションを強化	●加賀工場を物流を含むマルチファクトリーを竣工
軽金属射出成形機	●ものづくりの高度化に伴う高精度加工設備需要の拡大	●マグネシウム・アルミニウム射出成形機のさらなる改良を継続	●加賀工場をマザー工場として、セル生産システムを海外工場にも展開
	●自動化ニーズの高まり		●海外拠点での生産体制を強化
食品機械事業 中計の骨子： ●海外売上高の拡大 注： 米・中国の拠点と一体となったグループ共通の技術開発・製品開発を強化			
製麺機	●自動化ニーズの拡大	●生産設備の自動化、製品の標準化により原価低減を推進	●現地生産・現地販売の体制を構築
	●海外での日本食の浸透	●食品物性についての科学的データを収集、応用展開を通じた高品質製品の開発を強化	●加賀工場の増設により納期を短縮
	●高品質な調理機ニーズの増加		●海外工場の生産能力拡大、中国・アジア向けの供給体制を構築
包装米飯製造装置	●パックご飯の日常的消費の拡大		
その他	●中食市場の拡大	●中食市場向け製品の開発、販売強化	
	●自動化・省人化ニーズの拡大	●自動化、省人化設備の販売拡大	
その他事業 中計の骨子： ●精密金型・精密成形事業の収益力の向上 注： 米・中国の拠点と一体となったグループ共通の技術開発・製品開発を強化			
精密金型・精密成形事業	●自動車・半導体関連の継続的な需要	●金属3Dプリンタと専用射出成形機を活用したセル生産システムの研究開発を強化	●宮崎工場の生産能力を増強
セラミックス	●半導体製造装置メーカー向けの継続的な需要	●品質・精度向上に向けた研究開発を強化	●加賀セラミックス生産工場の生産能力を増強

成長を支える経営基盤強化

ESG

- ★環境保全への取り組み
- ▶社会課題への対応
- コーポレート・ガバナンス
- ★調達・生産時の環境負荷削減
- ★環境配慮型製品の開発推進
- ★需要に応じた生産販売体制の構築
- ▶ダイバーシティの推進
- ▶働きやすい職場環境の整備
- ▶人材育成・マネジメント体制の強化
- ▶地域コミュニティへの貢献
- ▶品質マネジメント体制の強化
- リスクマネジメント、コンプライアンス等グループ・ガバナンスの強化
- ステークホルダーとの対話の実施
- CSR推進体制の強化
- 事業管理体制の構築